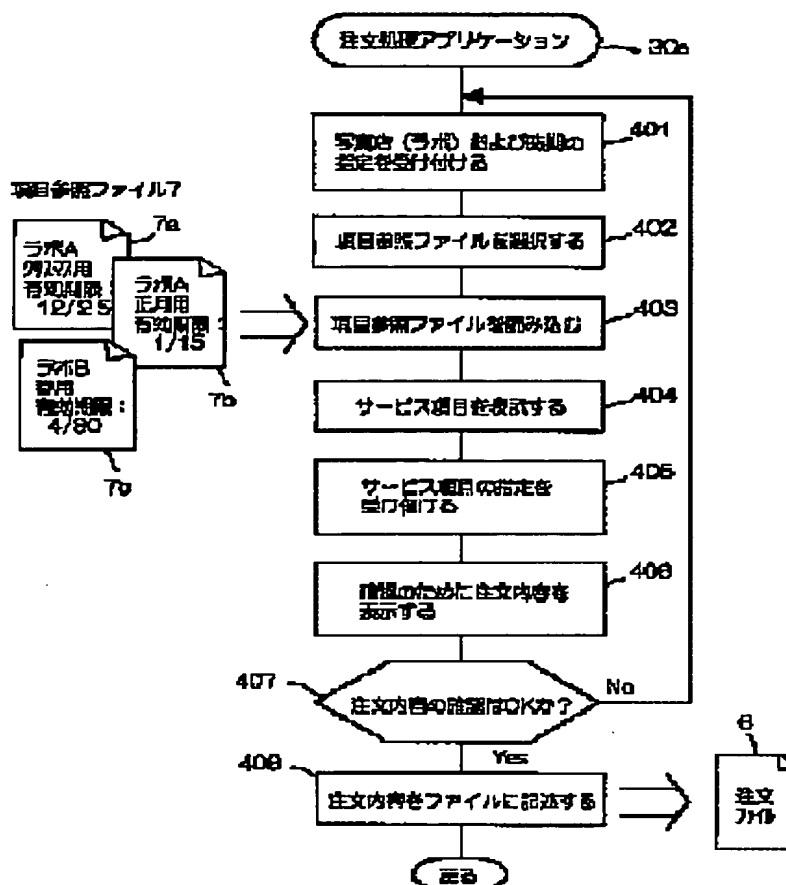



☐ Include in patent order

MicroPatent® Worldwide PatSearch: Record 1 of 1



Family Lookup

JP11134400

**METHOD FOR PREPARING ORDER FILE TO BE USED FOR PHOTOGRAPH SERVICE
AND DEVICE THEREFOR AND RECORDING MEDIUM RECORDED WITH ORDER FILE
PREPARATION PROGRAM**

FUJI PHOTO FILM CO LTD

Inventor(s): ;OTSUKA SHUICHI

Application No. 09293966 , Filed 19971027 , Published 19990521

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to easily obtain the information of a service content provided by a photo studio or a laboratory to which the user is requesting a service at that time, and to

easily prepare an order file based on the information when the user prepares the order file to be transferred to the service provider by ordering by his own personal computer for a digital photo service.

SOLUTION: A service item displayed on a screen by application software for preparing an order file is described in an item reference file 7 different from the application main body, and each time the application main body is executed, the time reference file 7 is read (a step 403), and the service item described in the file is displayed. That is, the item reference file is provided as another file different from the application main body so that the service item displayed on the screen can be changed only by replacing the item reference file.

Int'l Class: G06F01760 G03B02746 G06F00314

MicroPatent Reference Number: 000475766

COPYRIGHT: (C) 1999 JPO



PatentWeb
Home



Edit
Search



Return to
Patent List



Help

For further information, please contact:
[Technical Support](#) | [Billing](#) | [Sales](#) | [General Information](#)

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21 3 3 0
G 0 3 B 27/46		G 0 3 B 27/46
G 0 6 F 3/14	3 4 0	G 0 6 F 3/14 3 4 0 A

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平9-293966

(22)出願日 平成9年(1997)10月27日

(71)出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72)発明者 大塚 秀一

神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地 富士写真フイルム株式会社内

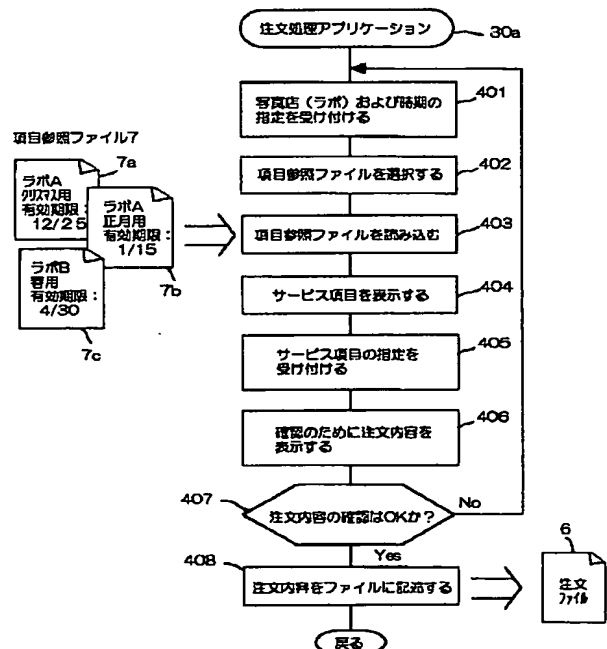
(74)代理人 弁理士 柳田 征史 (外1名)

(54)【発明の名称】 写真サービスの注文に使用する注文ファイル作成方法および装置並びに注文ファイル作成プログラムを記録した記録媒体

(57)【要約】

【課題】 デジタル写真サービスにおいて、ユーザが自分のパソコンで注文処理を行って、サービス提供者に受け渡す注文ファイルを作成する際に、サービスを依頼しようとする写真店あるいはラボがその時点で提供しているサービス内容の情報を容易に入手することができ、かつその情報に基づいて簡単に注文ファイルを作成できるようにする。

【解決手段】 注文ファイル作成用のアプリケーションソフトが画面上に表示するサービス項目を、アプリケーション本体とは別の項目参照ファイル7に記述しておき、アプリケーション本体が実行される度にこの項目参照ファイル7が読み込まれて(ステップ403)、ファイル内に記述されたサービス項目が表示されるようにする。すなわち、項目参照ファイルをアプリケーション本体とは別ファイルとすることにより、項目参照ファイルを差し替えるだけで画面上に表示されるサービス項目を変更できるようにする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 注文可能なサービス項目とサービスの対象として指定可能な画像データとを表示装置に表示し、入力装置から入力される情報であって前記表示に基づいて選択されたサービス項目および画像データを示す指定情報を取り込み、該指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより写真サービスの注文に使用する注文ファイルを作成する方法において、記憶装置に予め記憶された、注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された少なくとも1つの項目参照ファイルを参照し、

前記注文可能なサービス項目として、前記項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とする注文ファイル作成方法。

【請求項2】 画像データの編集サービスで使用可能な少なくとも1つのテンプレートの表示用データを前記項目参照ファイルに記述し、前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを表示し、前記サービス項目を示す指定情報の1つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を取り込むことを特徴とする請求項1記載の注文ファイル作成方法。

【請求項3】 前記記憶装置に、写真サービスを提供するサービス店ごとの複数の項目参照ファイルを記憶し、入力装置から入力された、サービス店を指定する情報を取り込み、前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とする請求項1または2記載の注文ファイル作成方法。

【請求項4】 前記記憶装置に、写真サービスを提供する時期ごとの複数の項目参照ファイルを記憶し、入力装置から入力された、時期を指定する情報を取り込み、前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とする請求項1または2記載の注文ファイル作成方法。

【請求項5】 注文可能なサービス項目とサービスの対象として指定可能な画像データとを画面に表示する表示手段と、前記表示に基づいて選択されたサービス項目および画像データを示す指定情報を取り込む指定情報取込手段と、前記指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより写真サービスの注文に使用する注文ファイルを作成するファイル生成手段とを備えた注文ファイル作成装置であって、前記注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された少なくとも1つの項目参照ファイルを記憶した記憶手段を備え、

2

前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、前記項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とする注文ファイル作成装置。

【請求項6】 前記項目参照ファイルが、画像データの編集サービスで使用可能な少なくとも1つのテンプレートの表示用データを含むファイルであり、前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを表示するものであり、

10 前記指定情報取込手段が、前記サービス項目を示す指定情報の1つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を取り込むものであることを特徴とする請求項5記載の注文ファイル作成装置。

【請求項7】 前記記憶手段が、写真サービスを提供するサービス店ごとに複数の項目参照ファイルを記憶するものであり、

前記指定情報取込手段が、サービス店を指定する情報の取り込みも行うものであり、

20 前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するものであることを特徴とする請求項5または6記載の注文ファイル作成装置。

【請求項8】 前記記憶手段が、写真サービスを提供する時期ごとの複数の項目参照ファイルを記憶するものであり、

前記指定情報取込手段が、時期を指定する情報の取り込みも行うものであり、

30 前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するものであることを特徴とする請求項5または6記載の注文ファイル作成装置。

【請求項9】 写真サービスの注文に使用する注文ファイルの作成処理プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

記憶装置に予め記憶された、注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された項目参照ファイルを読み込み、該項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示装置に表示する処理と、

記憶装置に保管された、サービスの対象として指定可能な画像データを表示装置に表示する処理と、

入力装置から入力される情報であって前記画像データおよびサービス項目の表示に基づいて選択された画像データおよびサービス項目を示す指定情報を取り込む処理と、

前記指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより注文に使用する注文ファイルを作成する処理と、

をコンピュータに行わせる注文ファイルの作成処理プログラムが記録されたことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

50

【請求項 1 0】 前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、画像データの編集サービスで使用可能な少なくとも 1 つのテンプレートの表示用データを含むファイルであり、
前記プログラムが、
前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを前記表示装置に表示する処理と、
前記サービス項目を示す指定情報の 1 つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を前記入力装置から取り込む処理と、
をコンピュータに行わせるプログラムであることを特徴とする請求項 9 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 1】 前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、写真サービスを提供するサービス店ごとの複数のファイルであり、
前記プログラムが、
入力装置から入力された、サービス店を指定する情報を取り込む処理と、
前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を前記表示装置に表示する処理と、
をコンピュータに行わせるプログラムであることを特徴とする請求項 9 または 1 0 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 2】 前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、写真サービスを提供する時期ごとの複数のファイルであり、
前記プログラムが、
入力装置から入力された、時期を指定する情報を取り込む処理と、
前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示する処理と、
をコンピュータに行わせるプログラムであることを特徴とする請求項 9 または 1 0 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタル写真サービスにおいて、プリント出力やメディアへのデジタル出力などの注文に関する各種指示情報を、ユーザからサービス提供者にデジタルデータとして受け渡して注文を行う場合に、指示情報が記述された注文ファイルを作成する方法および装置ならびに注文ファイル作成プログラムが記録された記録媒体に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】近年、インターネットを利用したデジタル写真サービスが提供されるようになってきた。このサ

ービスによれば、例えばフィルムを現像に出す際に同時に画像のデジタル化および保管を依頼しておけば、そのフィルムに記録されていた写真がインターネット上で依頼者に限定公開されるため、その依頼者はネットワークに接続されたパソコンでその公開された写真を参照することにより、サービス店に出向くことなくプリントの焼き増し注文などを行うことができる。

【0 0 0 3】このような注文形態では、注文に関する各種指示情報を記述した注文ファイルが、ネットワークや記録メディアを介して、ユーザからサービス提供者に受け渡される。注文ファイルは、通常ユーザのパソコンに組み込まれた専用のアプリケーションソフトにより作成される。このソフトは、サービスの対象として指定可能な画像データの一覧や、その画像データについて注文できるサービス項目（例えばプリント可能なサイズ、編集に使用できるテンプレートなど）の一覧を画面上に表示する。ユーザがその表示に基づいてマウスやキーボードにより所望の画像データおよびサービス項目を選択すると、そのソフトはそれらの情報を取り込み、画像データの ID と指定されたサービス項目を示す ID とを予め定められたフォーマットでファイルに記述し、注文ファイルを作成する。

【0 0 0 4】上記アプリケーションソフトによれば、ユーザは、表示された画像データおよびサービス項目の中から任意の画像データとサービス項目を選択して注文ファイルを作成し、注文を行うことができる。このようなアプリケーションソフトはネットワークや記録メディアによってユーザに配布されることが考えられる。

【0 0 0 5】

【発明が解決しようとする課題】上記形態では、サービス提供者がサービスの内容を変更する場合には、前記アプリケーションソフトをバージョンアップしてユーザに再配布しなければならない。この場合、ユーザの側は再配布されたソフトウェアをパソコンにセットアップし直さなければならない。これは、サービス提供者、ユーザ双方にとって面倒な作業であり、したがって頻繁なサービス内容の変更は困難である。

【0 0 0 6】しかしながら、デジタル写真サービスに限らず一般に写真サービスでは、提供されるサービスの内容は、アプリケーションソフトの提供元であるサービス提供者ごとに異なるばかりでなく、個々の写真店やラボなどサービス店単位で異なるのが普通である。また、同じサービス店でも時期によって提供し得るサービスの内容が異なることもある。

【0 0 0 7】例えば、サービス店が所有するフォトフィニッシングシステムの機種によって、プリント可能なサイズの範囲は異なる。また、例えば年賀ポストカード作成サービスのように、限られた時期にしか提供されないサービスもある。さらに、同じサービスでもサービス店ごとに価格が異なったり、さらに 1 つのサービス店につ

いても時期によって価格が変動することがある。

【0008】このため、上記形態のように、ある系列に属する全てのサービス店のユーザに、同じアプリケーションソフトを提供して注文を受け付けてしまうと、例えばあるサービス項目について注文ファイルを作成することはできたが、写真店にその注文ファイルを受け渡して注文を行ったら受け付けてもらえなかったという問題が起り得る。あるいは受け付けてはもらえたものの、サービス価格が変わっていたためにトラブルが生じるといった可能性もある。

【0009】本発明は、この問題に鑑みて、ユーザが自分のパソコンで注文処理を行って、サービス提供者に受け渡す注文ファイルを作成する注文形態において、ユーザがサービスを依頼しようとする写真店あるいはラボがその時点で提供しているサービス内容の情報を容易に入手できるようにし、かつその情報に基づいて簡単に注文ファイルを作成することができるようにすることを目的とするものである。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明では、上記課題を解決するために、サービス項目のリストを、アプリケーションソフトの本体には組み込まずに、本体とは別のファイルに記述しておき、アプリケーション本体が実行される度にこのファイルが読み込まれて、ファイル内に記述されたサービス項目が表示されるようにする。

【0011】すなわち、本発明の注文ファイル作成方法は、注文可能なサービス項目とサービスの対象として指定可能な画像データとを表示装置に表示し、入力装置から入力される情報であって前記表示に基づいて選択されたサービス項目および画像データを示す指定情報を取り込み、該指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより写真サービスの注文に使用する注文ファイルを作成する方法において、記憶装置に予め記憶された、注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された少なくとも1つの項目参照ファイルを参照し、前記注文可能なサービス項目として、前記項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とするものである。

【0012】ここで、「表示装置」とは、具体的にはパソコンのモニタであり、「入力装置」とはパソコンのキーボード、マウスなどである。また「記憶装置」とは、前記表示装置や入力装置を備えたパソコンのハードディスクであってもよいし、そのパソコンとネットワークで接続された他のコンピュータのハードディスクであってもよい。

【0013】「サービス対象として指定可能な画像データ」の表示は、例えばパソコンからサービスセンタにアクセスすることによってサービスセンタに保管管理されているモニタ表示用の画像データを参照して表示してもよいし、画像データがCD-Rなどに記録されてユーザ

に提供されている場合にはそのCD-Rなどから画像データを読み込んで表示してもよい。

【0014】また、「選択されたサービス項目および画像データを示す指定情報」は、例えば選択された画像データやサービス項目のIDなどとすることが好ましい。注文ファイルのサイズは、ファイル転送処理の都合上小さい方が望ましいため、注文ファイルに記述する指定情報は、できる限り少ないビット数で表現できるようにするのがよい。

10 【0015】「注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された」とは、必ずしも、画面に表示する全てのサービス項目を項目参照ファイルから読み込む必要はなく、例えば普通のプリントサービスなどに関しては、アプリケーションの本体にそのサービス項目のリストを組み込んでおいてもよいということである。

【0016】また、本発明において、注文ファイルおよび項目参照ファイルのファイルフォーマットは特に限定しない。

20 【0017】なお、本明細書において「サービス」とは、いわゆるプリントサービスのほか、メディアへのデジタル画像データの記録サービス、ネットワークサーバへの画像登録サービスなど、サービス提供者がユーザに対して提供するあらゆる写真サービスを意味している。また、「注文可能なサービス項目」とは、サービスの種類のみならず、例えばプリントサービスであればプリント可能なサイズの種類や、プリントメディアの種類（例えば普通の印画紙、Tシャツ、マグカップ）などの詳細項目も含むものとする。また、サービス項目を表示する際には、サービス価格も一緒に表示することが望まし

30 【0018】例えば、前記サービスの1つとしてテンプレートを利用した画像編集サービスを提供する場合には、画像データの編集に使用できる少なくとも1つのテンプレートの表示用データを前記項目参照ファイルに記述し、前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを表示し、前記サービス項目を示す指定情報の1つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を取り込むようにする。つまり、このような場合のテンプレートの種類も、サービス項目と称するものとする。

40 【0019】なお、ここで「表示用データ」は、低解像度のテンプレートとすることが望ましい。これは、項目参照ファイルの中には通常何種類ものテンプレートが記述されるため、モニタ表示に支障が無い範囲で可能な限り解像度を落としておく方が、項目参照ファイルを転送する際に都合がよいからである。

50 【0020】ここで、上記項目参照ファイルは1種類のみ用意しておきサービス内容の更新に伴い交換するようにしてもよいが、前記記憶装置に、写真サービスを提供するサービス店ごとの複数の項目参照ファイルを記憶

し、入力装置から入力された、サービス店を指定する情報を取り込み、前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するようにしてもよい。

【0021】あるいは、前記記憶装置に、写真サービスを提供する時期ごとの複数の項目参照ファイルを記憶し、入力装置から入力された、時期を指定する情報を取り込み、前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するようにしてもよい。

【0022】なお、「時期ごと」とは、例えば春夏秋冬の季節ごと、あるいはクリスマスシーズン用、年始用、運動会シーズン用、母の日用というように、行事のシーズンごとに項目参照ファイルを用意することなどを意味する。

【0023】以上、本発明の注文ファイル作成方法について説明したが、本発明の注文ファイル作成装置は上記方法にしたがって注文ファイルを作成する装置のことであり、実際には汎用パソコンなどに専用のアプリケーションを組み込むことにより実施されるものである。

【0024】すなわち、本発明の注文ファイル作成装置は、注文可能なサービス項目とサービスの対象として指定可能な画像データとを画面に表示する表示手段と、前記表示に基づいて選択されたサービス項目および画像データを示す指定情報を取り込む指定情報取込手段と、前記指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより写真サービスの注文に使用する注文ファイルを作成するファイル生成手段とを備えた装置であって、前記注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された少なくとも1つの項目参照ファイルを記憶した記憶手段を備え、前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、前記項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示することを特徴とするものである。

【0025】この際、前記項目参照ファイルを、画像データの編集に使用できる少なくとも1つのテンプレートの表示用データを含むファイルとし、前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを表示し、前記指定情報取込手段が、前記サービス項目を示す指定情報の1つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を取り込むようにしてもよい。

【0026】さらに、前記記憶手段が、写真サービスを提供するサービス店ごとに複数の項目参照ファイルを記憶するものであり、前記指定情報取込手段が、サービス店を指定する情報の取り込みも行うものであり、前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するものであるような装置としてもよい。

【0027】同様に、前記記憶手段が、写真サービスを提供する時期ごとの複数の項目参照ファイルを記憶するものであり、前記指定情報取込手段が、時期を指定する情報の取り込みも行うのであり、前記表示手段が、前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示するものであることを特徴とする装置としてもよい。

【0028】さらに、本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録された注文ファイル作成プログラムは、上記汎用パソコンに組み込む専用のアプリケーションに相当するものである。サービス提供者は、このプログラムが記録された記録媒体をユーザに提供して、ユーザのパソコンにこのプログラムを組み込んでもらう。さらにこのプログラムとは別に上記項目参照ファイルをユーザに提供する。

【0029】すなわち、本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、写真サービスの注文に使用する注文ファイルの作成処理プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、記憶装置に予め記憶された、注文可能なサービス項目の中の少なくとも一部が記述された項目参照ファイルを読み込み、該項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示装置に表示する処理と、記憶装置に保管された、サービスの対象として指定可能な画像データを表示装置に表示する処理と、入力装置から入力される情報であって前記画像データおよびサービス項目の表示に基づいて選択された画像データおよびサービス項目を示す指定情報を取り込む処理と、前記指定情報を予め定められた形式で所定のファイルに記述することにより注文に使用する注文ファイルを作成する処理と、をコンピュータに行わせる注文ファイルの作成処理プログラムが記録されたことを特徴とするものである。

【0030】項目参照ファイルを記憶しておく記憶装置と、画像データを保管しておく記憶装置は異なるものであっても同じものであってもよい。また、記憶装置とはメディアドライブにセットされた状態のリムーバブルメディアも含むものとする。

【0031】この際、前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、画像データの編集に使用できる少なくとも1つのテンプレートの表示用データを含むファイルであれば、前記プログラムは、前記注文可能なサービス項目の一部として、前記テンプレートの表示用データを前記表示装置に表示する処理と、前記サービス項目を示す指定情報の1つとして、前記表示に基づいて選択されたテンプレートを示す情報を前記入力装置から取り込む処理とをコンピュータに行わせるようにしてもよい。

【0032】さらに、前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、写真サービスを提供するサービス店ごとの複数のファイルである場合には、前記プログラムは、入力装置から入力された、サービス店を指定する情報を

取り込む処理と、前記注文可能なサービス項目として、指定されたサービス店に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を前記表示装置に表示する処理とをコンピュータに行わせるようにしてもよい。

【0033】同様に、前記記憶装置に記憶された項目参照ファイルが、写真サービスを提供する時期ごとの複数のファイルである場合には、前記プログラムは、入力装置から入力された、時期を指定する情報を取り込む処理と、前記注文可能なサービス項目として、指定された時期に対応する項目参照ファイルに記述されたサービス項目を表示する処理とをコンピュータに行わせるようにしてもよい。

【0034】なお、項目参照ファイルは、例えば上記プログラム（アプリケーションソフト）をユーザに提供する際に一緒に提供し、その後更新された項目参照ファイルをネットワーク上で（あるいはメディアに記録して）配布するなどして、ユーザが常に注文しようとするサービス店あるいは時期の最新の項目参照ファイルを入手できるようにすることが望ましい。

【0035】

【発明の効果】本発明は、注文ファイル作成用のアプリケーションソフトが画面上に表示するサービス項目を、アプリケーションソフトの本体の一部として記述するのではなく本体とは別の項目参照ファイルに記述しておく、アプリケーション本体が実行される度にこの項目参照ファイルが読み込まれて、ファイル内に記述されたサービス項目が表示されるようにしたものである。すなわち、項目参照ファイルをアプリケーション本体とは別ファイルとすることにより、項目参照ファイルを差し替えるだけで画面上に表示されるサービス項目を変更できるようにしている。これにより、例えば注文可能なサービス内容が更新された場合に、ユーザはアプリケーションの再入手あるいはセットアップを行うことなく、最新の項目参照ファイルを手に入れるだけで最新のサービスを受けることができる。

【0036】特にテンプレートを利用する画像編集サービスでは、テンプレートの追加や入れ替えが頻繁に行われるため、差し替えが容易な上記項目参照ファイルに、低解像度のモニタ表示用テンプレートを記述しておくのがよい。これにより、テンプレートの追加や入れ替えが簡単にできるようになる。

【0037】また、本発明において、項目参照ファイルをサービス店ごとに、あるいは時期ごとに複数用意し、注文を行うサービス店あるいは時期に対応する項目参照ファイルのみを参照して注文を行うようにすれば、同じ時期にサービス店ごとに異なるサービスが提供されたり、1つのサービス店で時期ごとに異なるサービスが提供されている場合でも、ユーザは所望のサービス店の所望の時期の項目参照ファイルを手に入れるだけでサービスを受けることができる。

【0038】デジタル写真サービスは、近年開始されたばかりの比較的新しいサービスであるため、サービス内容に関して日々新しい提案が為されており、変化の大きい分野である。また業者間の競争も激しいため、サービス提供者は、変化に迅速に追従し、常に適切なタイミングでユーザが所望するサービスを提供しなければならない。したがって、注文ファイル作成処理において、注文可能なサービス項目の変更を容易にした本発明の実用上の効果は極めて大きい。

10 【0039】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。図1は、本発明が適用されるネットワークフォトサービスシステムの一例を示す図である。図1において、ユーザ端末5はユーザのパソコン、あるいはパソコンを持たないユーザのためにサービス拠点などに設置された注文処理端末である。また、ラボシステム2（2a、2b、2c）は、プリント出力を実施するシステムである。また、テンプレートサーバ1は、テンプレートを管理しているサーバコンピュータである。

20

【0040】ラボシステム2とテンプレートサーバ1はインターネットあるいは専用線などのネットワーク10により接続されている。ユーザ端末5は、必要に応じてネットワーク10に接続できることが望ましいが、ラボシステム2とFD、MO、Zipなどのメディアを介して注文ファイルをやりとりすることができれば、必ずしもネットワーク10に接続されている必要はない。

30

【0041】このシステムにおいて、ユーザは予め、サービス提供者のシステムに対して、ユーザ画像の登録を行う。この登録によりラボシステム2にはプリント出力用の高解像度画像データ4が保持される。この高解像度画像データ4は、予めフィルムを読み取ってラボシステム2のハードディスクに保管しておいてもよいし、登録時にユーザからフィルムを預かっておいて必要に応じて読み取りを行うようにしてもよい。

40

【0042】一方、ユーザに対しては、ユーザ端末5上で画像を表示、確認するための低解像度画像データ（図示せず）が提供される。低解像度画像データはCD-Rなどに記録してユーザに提供してもよいし、データ自体はサービス提供者側の注文受付センタなどで管理しておき、ユーザがネットワークを介してそのデータにアクセスできるようにしてもよい。いずれの場合も、前記登録を行うことにより、ユーザはユーザ端末5上で画像を確認しながら注文内容を決定できるようになる。

50

【0043】一方、編集プリントの作成に利用されるテンプレートは、プリント作成時にそのまま利用できるように高解像度のデータとして（高解像度テンプレート3）テンプレートサーバ1に記憶されている。また、同じテンプレートが、項目参照ファイル7に、表示用の低解像度データ（低解像度テンプレート9）として記録さ

れてユーザに提供される。

【0044】項目参照ファイル7には、プリントサービス、画像編集サービス、メディアへのデジタル画像データの記録サービス、上記注文受付センタへの低解像度画像データの登録サービスなど、注文可能なサービスおよびそのサービスに関する各種選択肢のリストが記述されている。ここで、選択肢とは、例えばプリントサービスのプリントメディアとして指定できるものの種類や、指定可能なプリントサイズの種類などである。上記低解像度テンプレート9は、画像編集サービスに関する選択肢の1つとして項目参照ファイル7に含まれている。

【0045】本実施の形態では、この項目参照ファイル7は、ラボごとに、また注文の時期ごとに1つ存在し、ラボあるいは注文受付センタからユーザに、CD-Rなどのメディアに記録されて、あるいはネットワーク10を介して提供される。

【0046】ユーザはユーザ端末5上で専用のアプリケーションを起動し、これにより画像編集や注文処理を行う。例えば、ユーザが前記低解像度テンプレート9を参照しながら所定の画像の編集処理を行って編集画像のプリント注文を行ったとする。この場合、ラボシステム2aは、注文処理により作成された注文ファイル6を受け取ると、前記所定の画像に対応する高解像度画像データ4に対し、テンプレートサーバ1から入手した高解像度テンプレート3（低解像度テンプレート9に対応するもの）を使用して編集を行い編集プリント8を作成する。

【0047】以上、ネットワークフォトサービスシステムにおける注文処理の概要について説明したが、本発明は上記システムの中のユーザ端末5において行われる処理に関するものである。

【0048】図2は、ユーザ端末5に組み込まれるアプリケーションソフトの一例を示す図である。図2の例は、画像を編集するためのアプリケーションソフト20に、注文処理アプリケーション30を組み込んだ形態である。すなわち、この例は、画像編集アプリケーション20と注文処理アプリケーション30とによって、本発明にかかる処理を実施している。

【0049】画像編集アプリケーション20は、画像をモニタに表示し、マウスなどの入力装置から入力される、その画像に関する切り出し指定や他の画像への貼りつけ指定などを受け付けて、画像の編集処理を行う（ステップ201）。ユーザは画像編集アプリケーション20が画面に表示した編集済み画像を確認した後に、その画像のプリント指示を行う。プリント指示を受け付けた画像編集アプリケーション20は、注文処理アプリケーション30を起動する（ステップ202）。起動された注文処理アプリケーション30は、注文可能なサービス項目を画面上に表示する（ステップ301）。ユーザはこの表示に基づいて、例えばプリントサイズやプリントメディア（紙、Tシャツ、マグカップなど）の選択を行う。ユーザの選択

は例えばマウスを介して入力され、指定情報として取り込まれる（ステップ302）。取り込まれた指定情報は所定のフォーマットでファイルに記述され注文ファイルが作成される（ステップ303）。

【0050】図3は、上記注文処理アプリケーション30の処理を、より詳細に示した図である。この注文処理アプリケーション30aは、はじめに写真店（ラボ）および時期の一覧を画面上に表示してユーザからの指定入力を受け付ける（ステップ401）。次にユーザが指定した写真店と時期に対応する項目参照ファイル7を選択する（ステップ402）。さらに、選択したファイル（例えばファイル7b）をメモリ上に読み込み（ステップ403）、そのファイル内に記述されているサービス項目を表示する（ステップ404）。但し、例えば時期ごとの項目参照ファイル7については、ファイル内にそのファイルの有効期限が記述されており、このファイル7が読み込まれるときには、まず有効期限が参照され、有効期限が既に過ぎていれば読み込みエラーとなる。

【0051】なお、完成までの日数（急ぎか普通か）や配送方法（店頭受け取りか宅配便か）、サービス価格なども、サービス項目の1つとして項目参照ファイル7に記述しておいてもよい。

【0052】ユーザは表示されたサービス項目などの中から所望のものを指定する。注文処理アプリケーション30aはユーザからの指定入力を順次受け付け（ステップ405）、全ての入力が完了した時点で入力された注文内容を確認のために表示する（ステップ406）。注文内容の確認が完了したことが例えば確認ボタンなどにより注文処理アプリケーション30aに伝えられると、注文処理アプリケーション30aはその注文内容を所定のフォーマットでファイルに記述し（ステップ408）、注文ファイル6を作成する。具体的には注文ファイル6には、サービスの名称、数量、配送期日、配送方法、注文者、ラボなどの情報が記述される。またそのサービスの対象となる画像データを特定するためのIDあるいはリンク情報なども記述される。

【0053】作成された注文ファイル6は、上記ステップ401において指定されたラボに、ネットワークを介して転送される。あるいはFD、Zip、MOなどの記録メディアに記録してラボに持ち込んでもよい。さらに、記録メディアを店頭を持ち込みラボに配送してもよい。

【0054】以上は注文処理アプリケーション30の中で項目参照ファイル7を参照する形態であったが、項目参照ファイル7の中に低解像度テンプレートが記録されている場合には、画像編集の段階で項目参照ファイル7を参照するようにしてもよい。

【0055】図4は、この場合の画像編集アプリケーション20aの処理を示す図である。図に示すように、この画像編集アプリケーション20aは、ステップ501において

14

項目参照ファイル7がテンプレートを含む場合に、著名なキャラクタのテンプレート、風景写真のテンプレートというように、テーマ別のテンプレートを集めた項目参照ファイルなどが考えられる。

【0056】ユーザが所望のテンプレートを指定すると、画像編集アプリケーション20aはその情報を受け付ける（ステップ505）。さらにユーザからの画像データの指定を受け付け（ステップ506）、指定されたテンプレートを利用して指定された画像の編集を行う（ステップ507）。次にステップ508において編集結果を表示し、画面上に編集結果を表示したままの状態、注文処理アプリケーションを起動する（ステップ509）。注文処理アプリケーションの処理は図3と同じでよいが、参照すべき項目参照ファイルは既に選択済みなので、注文処理アプリケーションの起動時にパラメータとして受け渡せば、図3のステップ401、402は省略することができる。

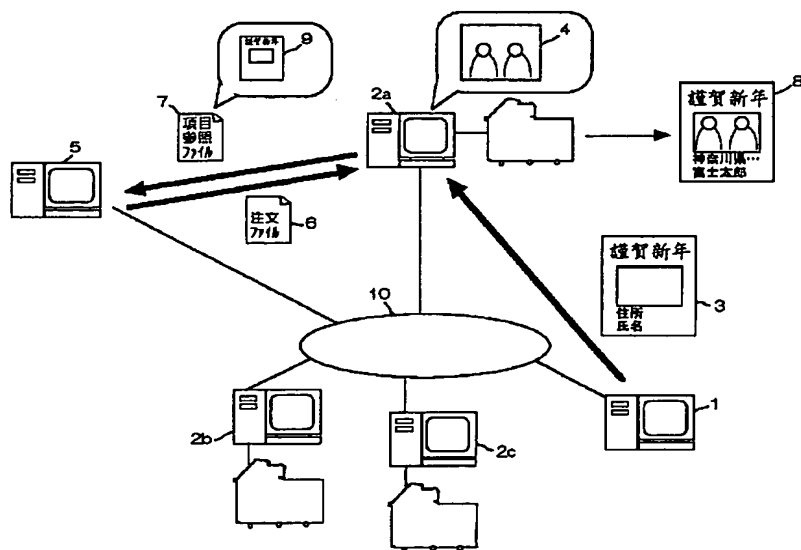
【００５７】以上、本発明の実施の形態について説明したが、上記実施の形態は本発明を限定するものではない。例えば画像編集アプリケーションと注文処理アプリケーションは１つのアプリケーションとして実現されていてもよい。

【0058】また、項目参照ファイル7は、ラボごと、時期ごとのほかにも様々な分類が考えられる。例えば、

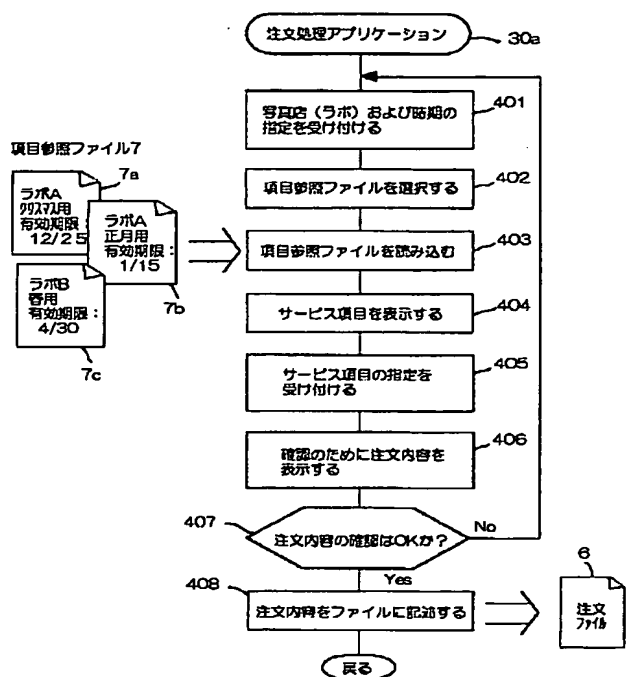
【図4】画像編集アプリケーションの一実施の形態を示す図

- 1 テンプレートサーバ
- 2 ラボシステム
- 3 高解像度テンプレート
- 4 高解像度画像データ
- 5 ユーザ端末
- 6 注文ファイル
- 7 項目参照ファイル
- 8 編集プリント
- 9 低解像度テンプレート
- 10 インターネット

【図 1】



【図 3】



【図 4】

